NIE実践報告

1．タイトル：☆家族について考えよう

2．学校名

北海道北見市立小泉中学校

3．実践者名（代表者名）

山崎　健太郎

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科（公民的分野）　90人

6．単元（本時の学習課題）名

「社会のなかで生きる」

7．目標(狙い)

現代にはさまざまな家族形態があることや、それぞれに家族生活を尊重し合うことの大切さを理解する。

8．評価の視点

社会の変容に対応する家族生活のあり方に関心を持つことができたか。
家族の果たす役割と家族の一員としての個々の役割を考えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「社会のなかで生きる」（教育出版：3時間扱い）本時3時間目

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

＜授業（本時）の流れ＞
①導　入　「ある家族の風景」（食事を準備する父子の姿の資料）を見て、各自で物語を作る。
②展　開　創作した物語について、発表する。
共通していることについて、意見交換する。
自分が捉える梶について考え、プリントにまとめる。
新聞のコラム「手伝う父親」をよみ、グループで感想を交流する。
③まとめ　家族の果たす役割と今の社会について考える。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・物語の創作は、意欲的に取り組んだ。やはり、食事を準備すえる父子の姿に、「何か特別な」という意識で見ている生徒が多かった。
・新聞のコラムについては、自分の家庭の様子と比較して考える生徒が多かった。

12．成果と課題

意欲的に取り組んでいる生徒が大変多かった。お互いの家の様子を紹介しながら、社会とのつながりについてみんなで考えることができた。ただ、家庭のことについて深入りしすぎないようにしていく配慮も必要である。